

## 知床世界自然遺産地域管理計画改定に係る指摘及び対応

&lt; 2025(令和7)年度第1回地域連絡会議 &gt;

項目	ご指摘内容 (○ご発言者)	対応
<p>2. 管理計画の基本的事項 (3) 管理計画の期間</p> <p>本管理計画の期間は、概ね10年とする。</p>	<p>どういう形で「概ね」という表現になったのか。もう少し早くなることもあるという意味合いを含めて考えていいのか。</p> <p>○ウトロ地域協議会 桜井事務局長</p>	<p>長期モニタリング計画が10年のため目安は10年であるが、状況に応じて見直しは必要。 5年経過した際の間評価及び総合評価の結果を踏まえて、必要に応じて見直しは行っていくことを確認。</p>
<p>3. 知床世界自然遺産の価値 (2) 知床が有するその他の価値</p> <p>「・・・また、サケ類やホッケなどの資源が豊富で現在も漁業が盛んに行われており、地域を代表する産業となっている。・・・」</p>	<p>現状、資源が豊富なのかということは疑問。</p> <p>○羅臼漁協 任田参事</p>	<p>以下に修文</p> <p>「・・・また、サケ類やホッケなどの資源を利用し現在も漁業が盛んに行われており、地域を代表する産業となっている。・・・」</p>
<p>4. 知床世界自然遺産の現状と課題 (2) 世界遺産委員会からの勧告への対応状況</p> <p>「・・・2025年の第47回世界遺産委員会では、気候変動に対する適応管理戦略の実施のための十分な資源の配分の確保、トドの個体群管理、資産に関する・・・」</p>	<p>「十分な資源の配分の確保」は魚の資源のことか。</p> <p>○羅臼漁協 任田参事</p>	<p>「遺産を管理するための行政機関の様々なモニタリングや、必要な予算や人材を確保」という遺産管理のための資源であり、漁業資源のことではない。</p>